

60歳からの学びの場 明寿大学の新入学生を募集

☎ 中央公民館 ☎ 027-210-2199

高齢者の学びの場・明寿大学の来年4月入学生を募集します。4年制で講座学習やクラブ学習などを通じ、自己実現と学習成果の地域還元を目指します。詳しくは中央公民館で配布するチラシをご覧ください。
 時〈講座学習〉毎月月曜1・2回、10時～12時〈クラブ学習〉毎月月曜1・2回、13時30分～15時30分
 場 中央公民館
 定 市内在住で、来年4月1日(木)時点で60歳以上の人、110人(抽選)
 費 運営費、学生会費など
 申 12月11日(金)までに二次元コードのホームページへ



ジで。または往復ハガキで(1人1通。同一世帯のみ連名可)。郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・年齢・電話番号を記入し、〒371-0023 本町二丁目12-1・中央公民館「明寿大学」係へ



まちなかの書店を巡って 本や人との出会いを楽しもう

☎ 市立図書館 ☎ 027-224-4311

市立図書館やまちなかの書店を巡りながら、本や人との出会いを楽しむ「ほんトモりんぐ」を実施。「ほんトモりんぐ」は、本と人をつなぐポイントカード。図書館と参加店舗を巡ってポイントを貯めると、オリジナルグッズが当たるくじ引きに参加できます。全ポイントを集めた人には、抽選で特別な体験に招待。ポイントカードは市立図書館や参加店舗などにあります。
 時〈ポイント獲得期間〉11月5日(木)～12月27日(日)まで〈リワード交換期間〉12月1日(火)～来年1月31日(日)

参加店舗＝本屋水紋・本の家2・HENGENI BOOKS・煥乎堂・マルベリー書房



- | | |
|-----------------|----------|
| ①市立図書館 | ②本屋 水紋 |
| ③本の家2 | ④煥乎堂 |
| ⑤ HENGENI BOOKS | ⑥マルベリー書房 |

検討状況をお知らせします 千代田町再開発事業の説明会

☎ 再開発準備組合事務局(ヤマト内) ☎ 027-290-1850

千代田町中心拠点地区再開発事業の説明会をオープンハウス形式で開催。準備組合が事業の検討状況や内容を来場者に対面で説明します。
 時 11月8日(日)10時～16時
 場 シェアオフィス comm 3階(千代田町二丁目)
 申 当日会場へ直接

ベンチを巡って探る 都市の新しい使い方

☎ アーツ前橋 ☎ 027-230-1144

アーティストとのワークショップを手がかりに、表現を通して生まれる出来事について考える「ワークショップ・ラボ」を開催。新しい都市の使い方を考えるアーティスト・トモシさんと一緒にまちなかのベンチを巡り、身近な風景を題材にしたまちの新しい使い方を探ります。

時 11月23日(月)10時～16時

場 アーツ前橋、中央通り商店街ほか

申 11月20日(金)までに二次元コードの申し込みフォームで



前橋国際芸術祭 2026

☎ 前橋国際芸術祭実行委員会事務局 ☎ info@machinaka.agency

11月もさまざまなイベントを開催。料金など詳しくは二次元コードのホームページをご覧ください。



● LOLOET Workshop Live 「本当は言いたかったこと」

芸術祭アンバサダーを務める和田彩花さんと群馬大附属中の生徒たちが、街で集めた音や心のなかに秘めている言葉をもとに即興演奏をつくり披露します。

時 11月8日(日)14時～15時

場 前橋中央通り商店街



●「MAEBASHI ART MARKET-持ち帰る芸術祭」 Produced by MEET YOUR ART with 風街タヤけマルシェ

「持ち帰る芸術祭」をコンセプトに、アートやクラフト、ファッション、食など、多彩な作り手が集結。作品を手に取り、味わい、お気に入りとの出会いを楽しめるマーケットです。

時 11月21日(土)11時～20時

22日(日)11時～19時

場 前橋中央通り商店街



● 小暮香帆

“FIELD BODY - choreographic improvisations”

ダンサー・小暮香帆さんが、建築家によるインスタレーション作品とコラボレーション。さまざまな空間と即興で呼応するダンスシリーズ『FIELD BODY』を披露します。

時 11月22日(日)14時～15時

場 アーツ前橋



● FUNclusion Week in Maebashi

アートライフスタイルブランド「ヘラルボニー」が体験型ワークショップを開催。多彩なクリエイターとともに、五感を使ったアート体験を楽しめます。

時 12月5日(土)・6日(日)、10時

～16時

場 ミヤケン元気21 にぎわいホール



Interview



山口 明世さん(左)・長岡 里枝さん(右)

会場運営や来場者案内のほか、会場整美や作品制作支援などを行い、芸術祭を支えるボランティア団体「THE BRICK CLUB(ザ・ブリック・クラブ)」。現在は約200人が参加しています。

本市出身で川崎市在住の山口明世さんは、親の介護で帰省する中、まちなかの変化を感じ、「自分も故郷のために何かしたい」と参加しました。「前橋の人が気づいていない魅力を、県外の人たちが評価してくれる。『前橋は面白い』と言ってくれるのが新鮮です」と話します。

長岡里枝さんは、会期前に空きビルの清掃や作品制作のサポートにも参加。「自分が関わった作品が展示されていることに特別な感動があります」と話します。「アートをきっかけに、今の前橋の街をあらためて見つめてほしい」と呼び掛けました。